



# みとこ

佐野市立三好小学校  
校長室だより

令和元年7月19日号

## 夏休み前に 振り返り

心と頭と体のバランスのとれた成長を考えて指導しています。指導したことで児童が成長する、良い変化が見られるなど、三好小全体が伸びていくこととなります。この3つを全児童に、10段階で自己評価させました。4月がスタートで0、7月は最高10までのうちのどの段階まで到達したのか、具体的な出来事を思い出しながら考えるようにしました。例えば、給食を毎日良くかんで残さず食べられたらプラス1かな。マラソントイムにいつも最初から最後までもてる力を出して走ったから、プラス1かな。授業中に、分からないことを質問したからプラス2でいいかな。良くない言葉遣いがあったから、マイナス1だな。友達にいやな思いをさせたから、マイナス2かな。・・・良いことも良くないことも同じように振り返って、これから自分はどうすることが良いのか考えられれば、夏休みも、夏休みが終わってからも一段階段を上ったように、行動が向上することでしょう。

## ネパールでつながる

2年生の保護者、儀同さんからのお話から始まったネパールの子供たちに鉛筆を贈る活動ですが、11日の下野新聞に掲載されたことでその輪が広がっています。その日の朝、石塚町に住む方から「鉛筆をたくさん集めてあるので、是非一緒に贈ってほしい。」と電話がありました。来校されたので詳しく話を伺うと、実際に10年くらい前には、現地に行って山羊とともに寝たこともあるそうで、佐野市内でもネパールへの支援活動を行っているということでした。その話の中で、「ネパールに学校を作る」と活動している人の話が出ました。聞けば、私の高校の同級生でした。早速、電話をすると、新聞を見ていたとのことでした。また、奈良渕町・足利市・栃木市の方からも、「使わなくなった鉛筆がたくさんあるので」という電話もいただきました。小山市の匿名の方から鉛筆の入った封筒が届きました。

文字を書くために当たり前に使っている鉛筆が身近にない子供たちもたくさんいることや鉛筆があっても、削るたびに芯が折れていたり曲がっていたりすることを知りました。短くなった鉛筆は、年末まで集めますのでお子さんに持たせてください。



## みんなの元気な姿を 夏休み中も、夏休み明けも 見られますように

元気ってどんな様子をいうのでしょうか。

子供たちが元気であるためには、  
どんな声かけが良いのでしょうか。  
必要なものは何でしょうか。  
一日の生活のリズムはどうでしょうか。

もう一度、学年から出た文書などをお子さんと確認し、それぞれのお子さんに合った良い夏休みの過ごし方を話し合ってみてください。

裏面あり

閉校まであと、257日

もしもの時に、心肺蘇生法を学びました。



AEDは職員室にあります。必要なときには、躊躇せず持ち出して使ってください。

# 温故知新

三好小だより 創刊号（昭和38年6月20日）から

- 全校児童数 452人（男子233人女子219人）
- 明るくゆたかな三好の子供を求めて 学校長 小野塚 政治  
子供の具体像として 4明るく心のゆたかな子供 6じょうずに遊ぶことのできる子供
- A組B組から1組2組へ（クラスの呼び名を変えたようです）
- 修学旅行 横浜江ノ島鎌倉方面  
遠足 1年唐沢山 2年佐野方面 3年足利方面 4年宇都宮方面 5年日光方面
- こんなおかあさんに 子どもから教師から
  - ほくといっしょにあそんでもらいたい・・・
  - 妹や弟と同じようにわたしをかわいがってくれるおかあさんがいい。
  - 「お帰りなさい」って言ってくれるお母さんがいいな。そして「さあ、手を洗っていらっしゃい。おやつですよ。」って言ってくれるとなおいいな。おやつを食べながら、お母さんといろんなこと、話すの楽しいだろうな。おやつがすんだあと「勉強ですよ」とにこにこ言われたら、もりもり勉強やっちゃうんだけどな。

\*児童数の多さに驚くとともに、「じょうずに遊ぶことのできる子ども」という具体像が、今にも通じます。遊びの中での問題を訴えてくる児童がいます。遊びながら学ぶことは、教室以上に生きる力にもなります。自力解決の力を少しずつつけていけるよう指導支援していきます。

1年生の遠足は、唐沢山だったのです。もしかすると、ここから歩いて行って登ったことも考えられます。やはり歩くことが健康、体力づくりの第一歩です。

最後の子どもの思い。「もりもり勉強やっちゃう」という言葉、ほのぼのとして情景が浮かびますが、今では、なかなか難しいでしょうか。今も昔も「話をしたい。聞いてほしい。」という思いは一緒だと思うのです。SNSに投稿する、いいねをもらいたい、と形を変えたのは、見ず知らずの人へとつながりを求めてか、気安さからか？ その危険性をお子さんには認識させてください。

## 夏休み

木坂涼

耳をちかづけて  
スイカをノックした夏休みが  
あった  
わたしは一年生だった

笛の合図で  
プールにとびこんだ夏休みが  
あった  
わたしは二年生だった

かんらん車で  
空を大きく一周した夏休みが  
あった  
わたしは三年生だった

いなびかりに  
パッとストロボたかれた夏休みも  
あった  
わたしは四年生だった

テレビをみても  
ストロボの  
いっしゅんみたい  
宿題がきになる夏休みが  
あった  
わたしは五年生だった

六年生の夏休み  
わたしたちは

